

リリース日	全体バージョン	L1/L3ソフトウェア		L2.1ソフトウェア	
		アルゴリズム	パラメータ	アルゴリズム	パラメータ
-	000.000				
2014/9/11	000.001	・レンジアンテナパターン補正改修 (パラメータファイルフォーマットの調整結果の反映) ・スカロップング・スキャン間輝度補正 ログ強化 (初期校正のためのログ強化) ・干渉波除去 ログ強化 (初期校正のためのログ強化) ・CEOSL1.0プロダクト パルス幅の単位変更 パルス幅の出力単位を $\mu\text{ sec}$ (10^{-6}sec) から $10^{-2}\mu\text{ sec}$ (10^{-8}sec) に変更 ・シーン切り出し機能高速化	・高分解能3m L1.5プロダクトダイナミックレンジ改善 (輝度変換パラメータの調整)		
2014/10/2	001.001	・フルボラメトリの輝度むら対応 (処理ライン数の偶数化 (FFTの使用法誤り)) ・干渉波除去のメディアンフィルタの窓サイズの単位変更 (bin数からHzに変更) ・スキャン間輝度補正方法の変更 (ライン毎からスキャン毎に変更)	・干渉波除去パラメータのしきい値変更 (初期校正検証結果の反映) ・レンジアンテナパターンの変更 (EORC殿より受領した設定値の反映) ・高分解能6m L1.5プロダクトダイナミックレンジ改善 (輝度変換パラメータの調整)		
2014/10/16	001.002				・スラントレンジオフセット量の変更 0.0m → -59.71m (Melco殿評価結果による変更)
2014/10/24	002.002	・CH間インバランス位相補正量変更 ・プロダクトフォーマット誤記に伴う修正 ・アジマスアンテナパターンのパラメータフォーマット変更 ・高分解能対応のアジマス窓関数の適用方法変更	・レンジディレイのオフセット量の更新 ・レンジアンテナパターンの変更 (EORC殿より受領した設定値の反映) ・高分解能10m L1.5プロダクトダイナミックレンジ改善 (輝度変換パラメータの調整) ・CH間インバランス位相補正量の変更 ・アジマスアンテナパターンのフォーマット変更 ・アジマス窓関数用パラメータ追加		・スラントレンジオフセット量の変更 -59.71m → 0.0m (スラントレンジオフセット-59.71mはL1.1プロダクトに反映されるためL2.1では不要となった)
2014/10/31	002.003		・レンジアンテナパターン の変更 (EORC殿より受領した設定値の反映)		
2014/11/4	002.004	・レンジアンテナパターン 補正の修正	・レンジディレイのオフセット量の更新 ・絶対校正係数の更新		
2014/11/7	002.005	・レンジアンテナパターン 補正の修正	・レンジディレイのオフセット量の更新 ・絶対校正係数の更新		
2014/11/14	002.006	・確定軌道暦が抜けている場合の読みエラー改修 (不明事象0107) ・ γ 0の入射角依存の修正	・絶対校正係数の更新 (SPOT 広域) ・アジマスアンテナパターンの更新 (広域490(V3))		
2014/11/19	002.007			・不具合修正 (楕円体高データ配列の原点の緯度経度の値をdouble (倍精度実数) で持つべきところ、float (単精度実数) に丸めてしまっていた)	
2014/11/24	002.008	・スボット (アジマスアンビギュイティ / 分解能改善) 対応の改修 ・J2000→TODへの改修 (緯度引数算出) ・広域観測L1プロダクト出力内容の修正 (2ラインずれ) ・不明事象対応 (0135,0139,0140)	・絶対校正係数の更新 (SPOT以外) ・L3処理パラメータの更新 (7×7)		
2014/12/17	002.009	・A/B系パラメータ切替え機能追加 ・調査用のログ強化 (全数シーン処理時のノイズ)	・スカロップング補正の改善 (アンテナパターン補正)		
2015/1/28	002.010	・EICS高負荷時に真っ黒な画像となる現象の修正 ・L3.1GeoTIFF編波間で同じ画像となる現象の修正 ・確定軌道暦使用時のオンボード姿勢切出し不正の修正 ・L1.0広域で別スキャンの最終ライン混入の修正 ・シーン中心におけるビーム中心方向の修正 ・計算機並列処理エラーの修正	・ADゲートの開始ディレイの定義変更		
2015/2/20	002.011	・L1.5/3.1GeoTIFFプロダクトのSigma Naughtの変換係数異常の修正 ・L1.0プロダクトに観測補助データが格納されない現象の修正	・L1処理異常 (再生画像切り出し、再生処理 異常終了) 対応 ・ログ出力期間の延長		
2015/3/18	002.012	・緯経度変換係数算出時の基準点変更	・PALSAR-2 L3プロダクト処理異常対応 (GeoTIFFタグ取得異常) ・フィールド値異常対応 (設備関連レコード5 フィールドNo.25,26の値が0になっている及びNo24の投影変換係数)		
2015/3/31	002.013	・プロダクト格納項目異常の修正 シーンセンタに対する衛星の直下点の進行方向 処理シーン中心での真北と地図投影軸との角度 衛星の正面方向 プロダクトファイル数			

リリース日	全体バージョン	L1/L3ソフトウェア		L2.1ソフトウェア	
		アルゴリズム	パラメータ	アルゴリズム	パラメータ
2015/4/15	002.014	・姿勢データ検査処理異常の修正			
2015/4/22	002.015	・InSARツール異常終了対応			
2015/5/19	002.016	・赤道付近シーン処理異常の修正			
2015/6/23	002.017		・うるう秒対応のパラメータ更新		
2015/12/4	002.018	・スポットライト処理異常対応			
2015/12/24	002.019		・L1.1フルアパーチャの画像範囲異常の修正 ・レンジアンテナパターン更新		
2016/2/29	002.020	・Geo-ReferenceをGeoTIFF出力した際のタグ異常の修正 ・L1.1 GeoTIFFプロダクトのGeoTIFFタグの緯度経度の逆転の修正 ・地図投影法PS設定画像の位置ズレの修正 ・ScanSAR レベル1.1 緯度ムラの補正 ・ScanSAR レベル1.5 Scan間緯度差の補正	・アルゴリズム修正に伴う修正		
2016/5/23	002.021	・L1.1フルアパーチャの画像範囲異常の修正	・L1.1フルアパーチャの画像範囲異常の修正		
2016/9/28 16:00(JST)	002.022	・パルスレプリカの精算から平均への変更 ・グリニッジ恒星時の時刻修正 ・南極ノイズの改善	・広域W2のラジメ精度改善 ・うるう秒パラメータの更新		
2017/3/28 16:00(JST)	002.023		・レンジアンテナパターン更新 ・ラジオメトリック校正係数更新 ・偏波校正係数更新		
2018/6/5 16:00(JST)	002.024	・ラジオメトリック補正処理の修正(広域観測モード350km 帯域幅28MHz) ・広域観測モードのスキャン間緯度差の改善	・ラジオメトリック補正処理の修正(広域観測モード350km 帯域幅28MHz) ・ラジオメトリック校正係数更新(高分解能6m モードフルボラリメトリモードビーム3.7) ・広域観測モードのスキャン間緯度差の改善		

リリース日	全体バージョン	L1/L3ソフトウェア		L2.1ソフトウェア	
		アルゴリズム	パラメータ	アルゴリズム	パラメータ
2018/11/20 16:00(JST)	002.025	・レベル1.1プロダクトのレンジオフセットの修正			
2020/6/23 16:00(JST)	002.026	・レベル1.1プロダクトのレンジオフセットの修正		・L2.1オルソ処理に使用するDEMとして、AW3D30を選択できるよう修正	・AW3D30関連のパラメータ修正 使用DEMデフォルト=ONで注文の場合、以下のDEMを使用してL2.1処理を行う。 SPT, SM1, SM2, SM3の日本域 : GISMAP SPT, SM1, SM2, SM3の日本域以外 : AW3D30 WD1, WD2 (領域に依らず) : AW3D30
2020/8/3 16:00(JST)	002.027	・広域観測モードレベル1.1プロダクトのシーン中心緯度、経度の修正			
2021/3/12 16:00(JST)	002.028	・スポットライト、広域観測(バースト方式)のSPEGAN 再生方式の修正			
2023/3/13 15:00(JST)	002.029	・干渉波除去アルゴリズムの改善	・アルゴリズム修正に伴う修正		

プロダクト処理にはご注文時の最新バージョンが適用されます。(リリース後に作成されたプロダクトであっても、リリース前にご注文された場合は、旧バージョンが適用されております)